

日本語 2 1 2 Oral Essay Assignment #2

In this assignment, you will make a short (oral) presentation about school rules. You can talk about your own experience in your high school days, you may talk about your fantasy high school (that you own), or you can talk about what you heard about high schools in other countries. First, read the following paragraph describing a Japanese person's childhood memories. Before creating your essay, list the school rules. Then, add more information related to each item such as reasons, people involved (who told you/allowed you to do something), what you thought about the experience, etc. Create the final version orally by talking aloud about your list and notes, recording your monologue using the software provided (for accessing software, see the course website (> "Links") or the catalyst dropbox). The maximum length of your presentation should be 2 min. Format your audio file as either .mp3 or .wav. Then, upload the file to the dropbox by 2/3(W). The dropbox will mark assignments as "LATE" if submitted after 5pm on 2/3).

<私の学校>

私が行った高校は、日本の高校でしたから、きそくがたくさんありました。土曜日も授業があったし、学校におそく来てはいけなかったし、ちょっとたいへんでした。先生は、いつも学生に「授業の時、ねてはいけません」と言ったり、「家に帰る時、店に行つてはいけない」と言っていましたし、図書館に行ったら、図書館の人が「図書館の中では、静かにしなければ行けません」と言ったり「毎日本を読まなければ行けません」と言ったりしていました。ですから、私は高校があまり好きじゃありませんでした。ですから、私は大学を卒業した後、新しい高校を作りたいと思っています。私が作る高校のきそくは一つだけです。このきそくは、「せいせきがいい学生なら、いつも好きなことをしてもかまいません。」というきそくです。せいせきがいい学生なら、授業で、音楽をききながら本を読んでもいいし、コンピューターでメールやチャットをしながら、授業を受けてもいいです。でも、せいせきが悪い学生は、ちょっとたいへんです。せいせきが悪いなら、毎朝早く学校に来て、宿題をしたり、きょうかしょを読んだりしなければいけません。音楽を聞きながら本を読んだり、メールやチャットをしながら授業を受けてはいけません。それから、私の学校の学生は、毎月一回、しけんを受けなければいけません。しけんのせいせきがよくなったら、好きなことをしてもかまいません。でも、せいせきが悪くなったら、好きなことをしてはいけません。いい高校だと思いませんか？